

講義名	卒業研究			
講義コード	44423	授業形態		開講期・曜日・制限 通年 木曜日 4 時限
担当教員	福岡 寿美子			

学部・学科	演習分野
商学部：経営学科・マーケティング学科 経済学部：経済学科・経済情報学科	日本語学・日本語教育学

概要説明
本演習では日本語および日本語教育学を中心とした研究演習を行います。 日本語学では、日本語とはどのような言語か、日本語の文字、表記、語彙・意味、音声・音韻、文法、敬語、方言、言語情報、言語行動、言語生活等々について研究します。また、言語と文化は密接な関係にあるので、日本語の特質を研究することによって、日本文化への理解をも深めます。 これらを踏まえ、日本語教育学では、日本語を世界の言語の一つとして捉え、外国語としての日本語を教育することについて研究します。日本人学生にとっては母語である日本語を、留学生にとっては外国語である日本語を共に研究することによって、異なった視点から物事を見、考える力を養います。 また、常に就職のことを念頭におき、就職および将来に役立つビジネス日本語の視点からも研究します。 さらに、日本人学生と留学生が共存することによって、異文化理解、多文化共生のコミュニケーションの観点からも研究を進めます。 必要に応じて、社会共創プログラム等にも参加します。 そして、21世紀の多言語・多文化社会における社会人・国際人としての資質を育成することも目標としています。 研究課題は日本語学および日本語教育学、さらに、異文化理解、多文化共生のコミュニケーションに関すること等々としします。これらの中からさらに、各自関心のあるテーマを選んで研究していきます。 日本語に関するものであれば、敬語について、方言について、若者言葉について、日本語の乱れについて、日本語の変化について、日本語教授法について、言葉と文化について、異文化理解とコミュニケーションについて、多文化共生のコミュニケーションについて等々何でも結構です。 ・研究演習Ⅰでは、巷にあふれる問題のある日本語について、『問題な日本語』Vol.1.2.3.4.を基に研究し、ビジネスに生かします。 また、『日本人の心がわかる日本語』を基に、外国人が分かりにくい日本語について研究し、その背景にある日本人の感じ方や考え方についても研究を深めます。 さらに、『やさしい日本語』で観光客を迎えよう』を基に、観光における『やさしい日本語』について研究を進め、就職に生かします。 ・ピア・ラーニング (Peer Learning) を行います。 ・研究演習Ⅱでは、ピア・レスポンス (Peer Response) についての実践や研究を行います。 また、この1冊できちんと書ける「論文・レポートの基本」を基に、論文の構成や表現についても学びます。 さらに、各自あるいはグループで、それぞれテーマを決めて研究し、パワーポイントを用いて口頭発表を行い、レポートを作成します。 そして、プロジェクト・ワーク (Project Work) によって、教材作成等にも取り組みます。 必要に応じて、多文化共生や国際共修の観点からも研究します。 ・卒業研究では、各自でテーマを決めて卒業論文を作成し、発表会を行います。 ・全研究演習を通じて、学内外の各コンテストに随時参加します。

主な卒業論文のタイトル
・「留学生のための日本語敬語のテレビドラマによる学習方法」 ・「中日の茶道の比較」(美学・宗教を中心に－) ・「京劇と歌舞伎の比較研究」 ・「日本文化と中国文化の比較研究－日本の和服と中国の漢服を中心に－」 ・「期待される教師像」 ・「中国と日本の通信販売についての状況と課題」 ・「中日庭園の比較」 ・「中国と日本の食文化の相違」 ・「日本と中国のショッピングセンターの研究」 ・「中国の一人っ子政策について」 ・「テーマパークの研究」 ・「中国人留学生と日本」 ・「留学生の生活体験から見た現代日本社会」 ・「中華料理の再発見」 ・「パワースポット研究」 ・「日本における接客サービスの特徴」 ・「携帯電話が与える社会への影響」 ・「アイドルがもたらす経済効果」 ・「オタク文化における経済効果への考察」 ・「日本アニメの経済効果」

教員よりの要望
無断欠席はしないでください。 日本人学生および留学生共に、互いに興味関心をもって仲良くでき、共に助け合って互いを高め合い、共に学び研究できる人を望みます。
選考方法
研究演習申込書および面接によって選考します。 必ず事前に個別ガイダンスを受けてください。
3年次のゼミ所属変更の際もこれに準じます。

評価方法	
課題提出および発表・プレゼンテーション（50%）、参加状況および参加態度（50%）等による総合評価を行います。	